

風土記の丘の花だより¹⁸⁸

今、そしてこれから見られる植物(2023年6月3日)

早くも梅雨入りしましたね。雨の季節です。雨の日には雨の風情を楽しみながら、傘をさして散歩をしましょう。ただ、足もとには気をつけてくださいね。



万葉植物園でひっそりとサカキの花が咲いています。右端階段を上って行くと中段ほどの左にあります。アジサイの段の西の端と言った方がわかりやすいでしょうか？写真は雨に濡れたサカキの花です。ちょっと雨の風情が感じられますか？サカキは漢字では木偏に神と書くくらいで、神事には欠かせない木です。これまではツバキ科でしたが、今や、ツバキ科、モッコク科、サカキ科など、図鑑によって表記は様々です。でも、何科であってもサカキはサカキです。つつましやかな花を楽しんでください。



「地面が紫色に染まっている！」と驚いた方はいませんか？これはナナミノキの花が落ちているのです。主に西日本に多い木で、風土記の丘ではごく普通に見られ、大木も多いです。雌雄異株で落ちているのは雄花です。ナナミとは「七実」のことで、赤い実がたくさんなることから名付けられました。ナナメノキという人もいます。でもホントは「ナナミ」。



シキミに実ができています。サカキの次はシキミです。神事の次は仏事ですね。花は年末から春の終わり頃まで長い間咲いていましたが、今頃やっと実になりました。万葉植物園の北、通路沿いの柵の中です。見にくかったら、遠慮なくまたいで入って観察してください。こんなかわいい実ですが、猛毒なので、気を付けてください。といっても触ったくらいでどうというものではありません。口にしない限り大丈夫です。



木の花が続いたので、最後は草にします。この地味な草はチチコグサです。ハハコグサは春の七草にも数えられ、花も黄色くて目立ちますが、父の方はこんな感じです。もうすぐ父の日ですが、母の日に比べてどうも忘れられがちですね。チチコグサもあまり注目されないことでは似ています。葉は細く小さく、茎がヒョロヒョロっと細く長く、その先に綿毛みたいな花を付けます。この仲間の外来種がいっぱいふえているので、在来種のこのチチコグサには、世の父親のかわりに頑張ってもらいたいものです。松下

